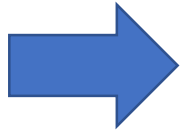


【件名】 5G高度化技術に向けたSRF機能による通信経路切替の評価	【申請者】 日本電気株式会社
周波数帯 ■SUB 6 □ミリ波	基地局相当 2 局 陸上移動局相当 9 局
【実験場所】 トヨタ自動車東日本株式会社 宮城大衡工場	

【課題】

干渉や遮蔽によって無線通信の利用環境が不安定な状況でも安定的な通信品質の確保が必要。



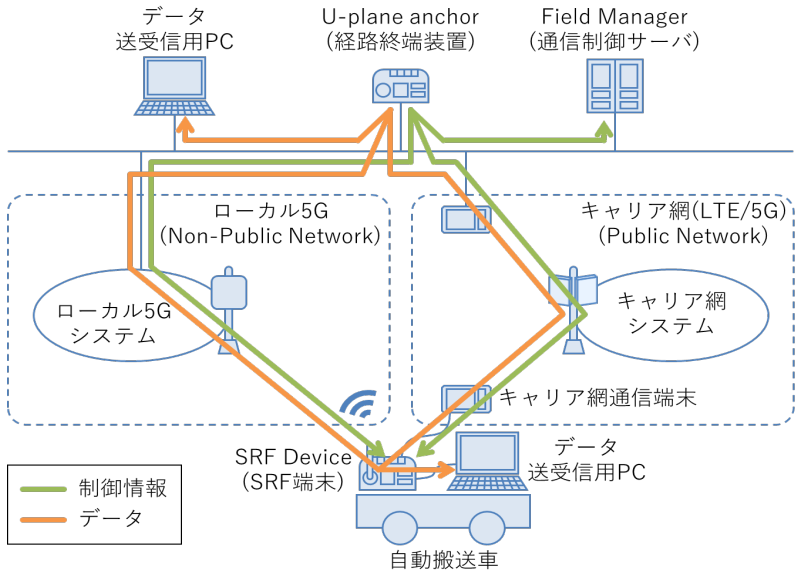
【改善】

Smart Resource Flow (SRF)無線プラットフォームの協調制御により、複数の無線通信システムを安定的に利用できる。

【実験の概要】

SRF無線プラットフォーム※1の技術仕様書Ver. 2※2が公開され、Ver. 1が対象としていた無線LANに加え、5G回線も用いたハイブリッドネットワークでの無線通信品質の安定化が可能となりました。

今般、このVer. 2に対応した無線通信システムを開発しました。本システムの有効性を実際の製造現場で確認すべく、トヨタ自動車東日本株式会社の大衡工場にて、右図のような環境でキャリア網(LTE/5G)とローカル5Gの切り替えによる移動体との無線通信品質の安定化を検証するための実験を行うものです。



※1 SRF無線プラットフォームとは、無線状態に応じた無線リソースの協調制御により製造現場の環境でも安定した無線通信を提供する無線システム

※2 フレキシブルファクトリパートナーアライアンス（FFPA）で定めたSRF無線システムの規格